



米の収穫作業と美しい耳納連山

農業生産基盤の整備及び優良農地の確保に向けて

ヒナモロコを守りながら生産基盤を整備し うまい米の安定生産をめざす

田主丸町・生産基盤整備事業



何度も協議を重ね、自然環境に配慮してヒナモロコ水路の整備工事が進められました。(写真は当時の工事の様子)

この事業では、竹野第二地区112ヘクタールの農地の区画を整理するとともに、用排水路や農道を計画的に整備することによって、農地の高度利用を進め、効率的で安定的な農業生産をめざすものです。

田主丸町竹野地区は、恵まれた気象条件と耳納連山の渓流水から、おいしい米の生産地として広く知られています。

農地の区画整備で
効率的で安定的な
生産環境を創出

ヒナモロコ等の希少な生き物は農の恵みの象徴

地区内の水路の一部には、国内では、ここにしか生息していない淡水魚ヒナモロコ（絶滅危惧ⅠA類）等の希少な生き物が生息しています。

今回の整備事業では、自然環境と農業の調和・共生を図ることを基本に、地元農家や専門家、自然保護団体が協議を重ねて、ヒナモロコ等の希少な生き物に十分に配慮した事業計画となっています。

その代表的なものが、ヒナモロコ等の魚類の生息に適した多自然型水路（通称、ヒナモロコ水路）で、平成19年度に完成しました。

一般的な農業用排水路は、側面、底面ともに平滑なコンクリートによる施工が一般的ですが、ヒナモロコ水路



好評発売中
数量限定に購入はお早めに

れんげ米
耳納連山
田主丸産
JAにし 直売所

毎日食べてほしいお米
安心して食べたいお米
血行促進効果

福岡県田主丸町
JAにし 直売所

●お電話でお求めの方は下記まで。
にし農業協同組合
TEL 0943-75-8111
にしにじ農協
TEL 0943-75-4200

（写真上）整備されたヒナモロコ水路を示す看板。水路は、一年中、水を絶やさないよう管理するなど、地元農家の努力によって維持されています。

（写真中）地元の竹野小学校の児童や田主丸養護学校の生徒など地域住民が参加したヒナモロコの放流会。

（写真下）竹野地区で生産されたお米。そのお米の一部は、JAにし「耳納連山れんげ米」の名称で、JAにし直売所の「耳納の里」や百貨店などで販売されています。

では、水路の側面や底面を自然石で施工するとともに、深みやよどみなどを設けて、ヒナモロコ等が生息しやすい環境としています。

しかしながら、多自然型水路は、コンクリート施工の水路に比べ、除草や堆積した土砂の除去などの作業が頻繁に必要ななど施工後の維持管理が課題となります。

地元農家では、ヒナモロコ等の希少な生き物は、竹野地区の優れた農の恵みの象徴であるとの意識のもと、地域住民やヒナモロコを保護する活動団体と協力して水路の維持管理などの活動を行っています。

晴らしい生産環境で作る安全で安心なうまい米

地区の営農組織では、希少な生き物

が生息する自然豊かな環境で作る米は安全で安心であり、このことをうまく消費者にアピールして、美味しいと評判の「竹野地区生産米」に新たな付加価値をつけて、ブランド化につなげていきたいと考えています。

遊休農地を解消するために 多くの人々が連携した取り組みがスタート

農地を耕作せずに荒れ果てさせてしまう遊休農地の増加が全国的な問題となっています。平野部の多い久留米市での遊休農地の発生率は、全国平均を下回っていますが、耳納北麓の山間部を有する草野町、山本町、田主丸町などでは比較的、多くの遊休農地が発生しています。

草野町と山本町の営農組織では、遊休農地の解消を主な内容とした計画を策定し、計画的に遊休農地を解消する取り組みを進めています。この中では、市民ボランティア組織の農業サポーターが遊休農地を再整備し、野菜の作付け支援を行っています。

また、藤山町では、農業サポーターがJAくろめ梨部会の指導の下、久留米特産の「藤山梨」を生産する梨畑の一部を維持管理する活動を行っています。



（上）遊休農地を整備して、野菜作付けを行う市民ボランティア組織の農業サポーター。
（下）藤山町の梨畑でせん定作業を行う農業サポーター。